



社会福祉法人 中央共同募金会

活動指針・団体の特徴

- 中央共同募金会は、全国47都道府県共同募金会の連合体で赤い羽根をシンボルとする共同募金運動の全国的な企画、啓発、宣伝、調査研究、都道府県共同募金会の支援等を行っています。
- 赤い羽根共同募金は、民間の運動として戦後直後の1947年に市民が主体の取り組みとしてスタートしました。その後、1951年に社会福祉事業法の制定により、共同募金の連合会の設立が規定され、1952年に社会福祉法人中央共同募金会として認可されました。

主な活動内容

赤い羽根共同募金は、都道府県の単位で、地域のボランティアグループ、NPO、社会福祉協議会、民間の社会福祉施設などが行うさまざまな地域福祉活動に役立てられます。助成先は全国で年間5万件以上となり、以下のような活動に助成されています。

- ひとり暮らしの高齢者の生活を支援する活動
- 障がいのある方が地域で安心して暮らすための活動
- 子育てで悩んでいる親たちの相談・支援活動
- ひきこもりがちの方や社会的に孤立している方を支援する活動
- 地域のみんが「安心・安全」に暮らすための活動
- 災害支援金「ボラサポ」(災害ボランティア・NPO活動サポート募金)の募集・助成
- 被災地でのボランティア活動を支援するための災害等準備金の積み立て(毎年共同募金の3%)による災害支援
- 災害発生時の義援金の受付・送金

ご寄附いただいた場合

◆寄附金は寄附金控除の対象になります。

- ・12月頃に、寄附金の領収書を郵送します。
- ・寄附金控除を受けるためには、確定申告の際に寄附金の領収書を添付してください。

◆活動内容を報告します。

- ・活動レポートを郵送します。

団体連絡先

社会福祉法人 中央共同募金会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階
TEL:03-3581-3846 FAX:03-3581-5755
URL:<https://www.akaihane.or.jp>

ご支援でできること

日本国内における地震、台風・大雨災害等による災害時のボランティア活動の支援金「ボラサポ」に活用します。

日本は、いつ、どこで災害が発生してもおかしくない時代に入りました。平成30年度も、大阪府北部地震、7月豪雨災害、台風21号災害、北海道胆振東部地震など、大規模災害が頻発しました。これらの地域ではみな、全国から駆け付けたボランティア・NPOにより、被災者支援・復興支援の活動が展開され、公費ではまかなえない個人宅の片づけや泥出し等、被災者の生活再建に大きな役割を果たしました。

「ボラサポ」(災害ボランティア・NPO活動サポート募金)は、こうした災害時のボランティア・NPOを支える支援金の仕組みです。

受け付けたご寄附金は、今後発生する災害の被災地で、赤い羽根共同募金のもつ全都道府県、市区町村にわたるネットワークを活用して、被災者支援活動を行う団体に助成されます。

最も必要とされているタイミングに、最も必要とされている活動にご寄附を役立てる「ボラサポ」に、ぜひご協力ください。

【主な使途】

被災された方々への救援・復旧・復興のための支援活動を現に行うボランティアグループ、非営利団体の実施する緊急救援活動、生活支援活動に対して助成を行います。

①緊急救援活動の例

- 被災者に対する緊急救援活動(泥出し、家屋等の片付け、家財道具の運び出し、床下清掃、重機を使った土砂の搬出等)
- 被災者の避難生活に係る救援活動(炊出し、家屋や施設等の復旧作業等)

②生活支援活動の例

- 避難所等から応急仮設住宅等へ入居する際の生活支援活動(引っ越しの手伝い等)

「ボラサポ」(災害ボランティア・NPO活動サポート募金)について

- 災害時、被災者・被災地の支援活動を行うボランティアグループやNPO活動に対して助成を行う「支援金」です。
- 災害に備えて必要な資金を平常時から集めるしくみです。
- 災害発生時に災害の規模に関係なく迅速に被災者支援活動団体へ助成することができます。
- また、日常からの災害への備えにも活かすこととしています。
- 第三者(外部識者)による公正な運営・審査を行っています。

※詳しくは中央共同募金会ホームページ(<https://www.akaihane.or.jp/>)をご覧ください。

<平成30年度活用例>



7月豪雨災害被災地での活動のようす(広島県)
床下の土砂出し、清掃、消毒作業を丁寧に行っています。



大阪府北部地震被災地での活動のようす(大阪府)
家屋の雨漏りを防ぐ応急処置としてブルーシート張りを行いました。